

第99期 業務のご報告

2024年4月1日～2025年3月31日

AdachiSeiwa Shinkin Bank Business Report

ごあいさつ



理事長 **土屋 武司**

若葉・青葉が色鮮やかな清々しい向暑の時期となりました。会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、当金庫第99期通常総代会を開催し、2024年度の事業および決算のご報告と剰余金処分案等の審議を賜り、満場一致でご承認いただきました。

ここに第99期（2024年4月1日から2025年3月31日）の事業報告と決算の状況につきまして謹んでご報告申し上げます。

さて、我が国の経済は緩やかに持ち直しており、内需を中心に底堅い成長が続くものと予想されているところですが、米国トランプ大統領の政策により不確実性が高い状況が顕著化してきており、最近においても相互関税発動の影響により、世界的な経済の冷え込みが懸念されるようになっております。

また、原材料や資源価格の高止まりや、人手不足も依然高い状況にあり、地域の中小企業の業況は厳しい環境が続いております。

他方面では、2024年3月に日銀はマイナス金利政策を解除し、17年ぶりに金利の引き上げを行い、2024年7月にはさらに追加利上げに踏み込んだことで、貸出金利も上昇傾向に転じており、本格的な「金利のある世界」へと転換が図られ、預貸金共に獲得競争が激化し始めており、我々を取り巻く環境も一段と厳しさを増してきております。

このような状況下、当金庫では、業務の効率化とお客様の諸課題改善のお手伝いへの環境整備に注力すると共に、コロナ禍で敬遠がちかつ消極的な活動からの脱却を図り、「地域応援！“おせっかい宣言”」というテーマのもと、信用金庫本来の持ち味である「Face to Face」でお客様にしっかりと寄り添い「地域（お客様）の声を確りと聴くこと、そしてその声を基に、より質の高いサービスを提供できる人財を育て、地域（お客様）のために常に考動すること」を念頭に、この一年積極的に取り組むと共に、昨年度も地域の様々な方々との連携により、数多くの事業を展開し地域経済の担い手としての役割を果たしてまいりました。

2024年度の業績といたしましては、2025年（令和7年）3月末の預金残高は5,885億円（前期比57億円増加）、貸出金残高はコロナ融資返済の本格化等により3,009億円（前期比▲5億円）と概ね堅調に推移し、本業で稼ぐ力を示すコア業務純益13億13百万円、当期純利益5億67百万円（計画比+65百万円）、また健全性を示す自己資本比率も国内基準を大きく上回る11.68%を計上することができました。

これもひとえに、会員の皆さまを始め、地域の方々のご支援・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

2025年度（令和7年度）に当金庫が創立99周年を迎えることより、創立100周年に向け「百年企業として誇れる足立成和信用金庫」を目指すと共に、地域への感謝・還元をテーマに参画する「千住宿」開宿400年祭”において、賑わいの創出（地域活性化）、歴史や文化の伝承、千住（あだち）の魅力の発信を、我々が中心となって確りと地域を巻き込み、取り組んでまいり所存です。

会員の皆さまにおかれましては、ぜひともご協力と今後とも倍旧のお引き立て、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

令和7年6月

東栄信用金庫との合併について

足立成和信用金庫および東栄信用金庫の両信用金庫は、2025年10月を目処に「したまち信用金庫」創設に向け準備を進めてまいりましたが、合併期日を延期することを2025年1月31日に公表いたしました。

なお、新たな合併期日につきましては、決定次第、改めてご案内申し上げます。

また、両金庫において新たな連携協定を締結し、合併後、合併効果を最大限に発揮できるよう環境整備を行っていくとともに、合併準備を進めてまいります。

お客さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

今後とも足立成和信用金庫および東栄信用金庫をご愛顧賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先
足立成和信用金庫 次世代戦略室
TEL：03-3882-3221
(担当：越後)

「したまち信用金庫」のロゴなどが決まりました！

■ ロゴ



「したまち信用金庫」の結束力とお客さまからの信頼である「繋がり」と、地域へ“おせっかい”し支援する「発展」をコンセプトに、「植物」と「風」をモチーフにして、“新たな息吹き”を与え、チャレンジを支える存在であり続けることをイメージいたしました。

■ キャッチフレーズ

とことん おせっかい宣言！

足立成和信用金庫と東栄信用金庫は、地域のための“おせっかい”を共通項としています。合併を機に、“おせっかい”を“とことん”極めるべく、キャッチフレーズに想いを込めました。

当金庫の概況

■ 概況 (2025年3月末現在)

創 立 大正15年11月11日
 本店所在地 〒120-0034
 東京都足立区千住1丁目4番16号
 純 資 産 190億61百万円
 店 舗 数 23店舗・プラザ3か所
 会 員 数 30,097先
 役 職 員 数 431人

■ 事業成績の推移

区 分	2022年度	2023年度	2024年度
預 金 積 金	577,851 ^{百万円}	582,782 ^{百万円}	588,524 ^{百万円}
貸 出 金	299,234	301,487	300,980
有 価 証 券	167,104	156,215	133,209
総 資 産	603,910	606,148	610,100
経 常 利 益	1,454,992 ^{千円}	1,240,570 ^{千円}	554,305 ^{千円}
当 期 純 利 益	996,579	950,912	567,534
自己資本比率	10.18%	10.47%	11.68%

自己資本比率は、リスクのある資産(リスクアセット)に対して自己資本がどれくらいあるのかを示す指標であり、健全な金融機関の単体自己資本比率は4%以上(国内基準)と定められています。

貸借対照表 (2025年3月末現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)	(百万円)	(負債の部)	(百万円)
現金	6,182	預 金 積 金	588,524
預 け 金	150,541	当 座 預 金	13,473
買入金銭債権	2,669	普 通 預 金	341,064
有 価 証 券	133,209	貯 蓄 預 金	2,493
国 債	4,005	通 知 預 金	339
地 方 債	22,478	定 期 預 金	214,224
社 債	60,148	定 期 積 金	11,292
株 式	71	その他の預金	5,636
その他の証券	46,504	借 用 金	609
貸 出 金	300,980	借 入 金	609
割引手形	1,538	そ の 他 負 債	1,303
手形貸付	3,927	未 決 済 為 替 借	491
証 書 貸 付	293,850	未 払 費 用	209
当 座 貸 越	1,664	給 付 補 填 備 金	5
外 国 為 替	26	未 払 法 人 税 等	43
外国他店預け	26	前 受 収 益	28
そ の 他 資 産	3,825	払 戻 未 済 金	32
未 決 済 為 替 貸	253	職 員 預 り 金	71
信 金 中 金 出 資 金	2,980	リ ー ス 債 務	39
前 払 費 用	14	資 産 除 去 債 務	19
未 収 収 益	477	そ の 他 の 負 債	361
そ の 他 の 資 産	99	退 職 給 付 引 当 金	278
有 形 固 定 資 産	9,276	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	113
建 物	3,602	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1
土 地	5,139	偶 発 損 失 引 当 金	64
リ ー ス 資 産	34	債 務 保 証	143
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	500	負 債 の 部 合 計	591,039
無 形 固 定 資 産	129	(純資産の部)	
ソ フ ト ウ ェ ア	105	出 資 金	2,137
リ ー ス 資 産	2	普 通 出 資 金	2,137
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	22	利 益 剰 余 金	25,435
繰 延 税 金 資 産	3,800	利 益 準 備 金	2,212
債 務 保 証 見 返	143	そ の 他 利 益 剰 余 金	23,223
貸 倒 引 当 金	△ 683	特 別 積 立 金	22,300
(うち個別貸倒引当金)	(△576)	(地域協調基金積立金)	(100)
		当 期 未 処 分 剰 余 金	923
		処 分 未 済 持 分	△ 28
		会 員 勘 定 合 計	27,544
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 8,483
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 8,483
		純 資 産 の 部 合 計	19,061
資 産 の 部 合 計	610,100	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	610,100

損益計算書 (2024年4月1日~2025年3月31日)

科目	金額	科目	金額
	(千円)		(千円)
経 常 収 益	7,636,229	経 費	5,425,939
資 金 運 用 収 益	6,709,414	人 件 費	3,535,149
貸 出 金 利 息	4,528,414	物 件 費	1,704,677
預 け 金 利 息	540,088	税 金	186,113
有 価 証 券 利 息 配 当 金	1,576,782	そ の 他 経 常 費 用	323,883
そ の 他 の 受 入 利 息	64,127	貸 倒 引 当 金 繰 入 額	74,870
役 務 取 引 等 収 益	797,101	貸 出 金 償 却	194,509
受 入 為 替 手 数 料	351,771	そ の 他 資 産 償 却	11,536
そ の 他 の 役 務 収 益	445,330	そ の 他 の 経 常 費 用	42,966
そ の 他 業 務 収 益	47,054	経 常 利 益	554,305
外 国 為 替 売 買 益	8,278	特 別 利 益	39,935
国 債 等 債 券 売 却 益	416	固 定 資 産 処 分 益	39,935
そ の 他 の 業 務 収 益	38,359	特 別 損 失	5,331
そ の 他 経 常 収 益	82,658	固 定 資 産 処 分 損	4,504
償 却 債 権 取 立 益	30,414	減 損 損 失	826
そ の 他 の 経 常 収 益	52,244	税 引 前 当 期 純 利 益	588,910
経 常 費 用	7,081,923	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	178,375
資 金 調 達 費 用	392,384	法 人 税 等 調 整 額	△ 157,000
預 金 利 息	380,139	法 人 税 等 合 計	21,375
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	3,197	当 期 純 利 益	567,534
借 用 金 利 息	6,220	繰 越 金(当 期 首 残 高)	355,727
そ の 他 の 支 払 利 息	2,825	当 期 未 処 分 剰 余 金	923,262
役 務 取 引 等 費 用	431,542		
支 払 為 替 手 数 料	94,758		
そ の 他 の 役 務 費 用	336,783		
そ の 他 業 務 費 用	508,174		
国 債 等 債 券 売 却 損	162,387		
国 債 等 債 券 償 還 損	336,910		
そ の 他 の 業 務 費 用	8,876		

剰余金処分 (2024年4月1日~2025年3月31日)

科目	金額
当期末処分剰余金	923,262,428 (円)
剰余金処分量	542,571,952
普通出資に対する配当金 (年2.0%)	42,571,952
特別積立金 (任意特別積立金)	500,000,000
繰越金(当期末残高)	380,690,476

以上のとおり報告します。

2025年6月23日

足立成和信用金庫

理事長 土屋 武司 常勤理事 森田 善信
 専務理事 木村 泰治 常勤理事 本村 昭
 常務理事 白幡 剛 理事 高杉 浩明
 常勤理事 岡田 静雄 理事 村田 和子
 常勤理事 山口 和男 理事 伊藤 茂

以上の各項目監査の結果、適法かつ正確なることを認めます。

常勤監事 加藤 定雄
 常勤監事 行木 寿夫
 員外監事 酒井 正美

総代会の概要

1. 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。従って、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、全員出席による総会の開催は事実上不可能です。そこで、会員の意見を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任などの重要事項を決議する最高意思決定機関です。従って、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

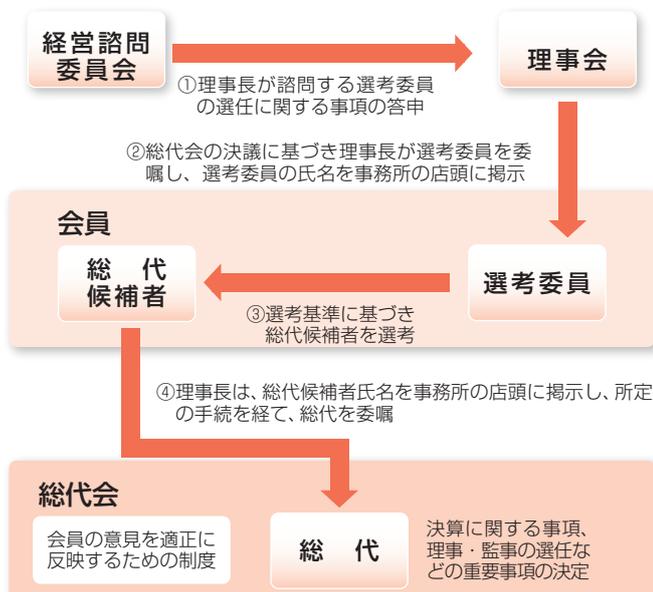
2. 総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- ・総代の任期は2年で、定年は80歳です。
- ・総代の定数は90人以上120人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定めます。

総代会の仕組み

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



なお、2025年3月31日現在の総代数は101人で、会員数は30,097先です。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の意見を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続を経て選任されます。

- ①総代会の決議により、会員のうちから総代候補者選考委員を選任する。
- ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(参考)

総代候補者の選考基準

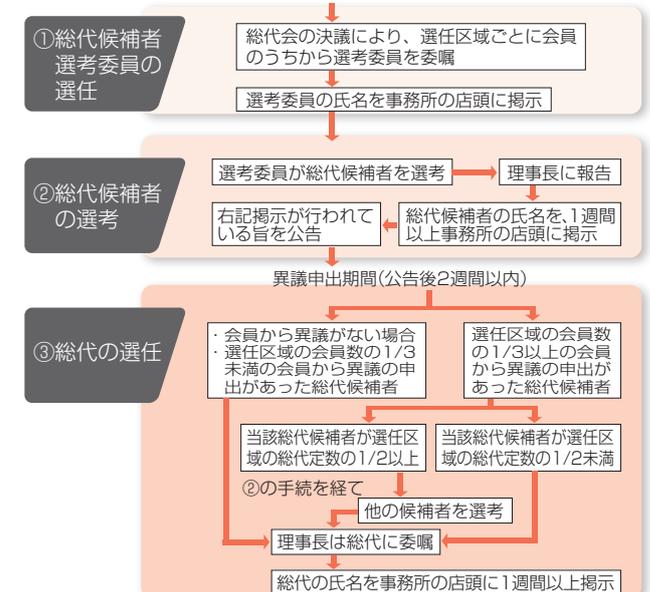
①総代候補者は、当金庫の会員でなければならない。

②総代候補者の選考基準は次のとおりとする。

- ・総代としてふさわしい見識を有している方
- ・良識をもって正しい判断ができる方
- ・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方
- ・その他総代候補者選考委員が適格と認めた方

総代が選任されるまでの手続

地区を6区の選任区域に分け、各選任区域ごとに総代の定数を定めます



2024年度における当金庫の取組み

事業支援 シグマバンクグループ「第13回 ビジネス交流会」の開催

亀有信用金庫・小松川信用金庫・東栄信用金庫・当金庫の主催、およびコザ信用金庫の共催により「シグマバンクグループビジネス交流会」を開催いたしました。

「新しい出会いを探しに、次のステージへ」をテーマに、全体で271社（うち当金庫取引先企業78社）の企業が参加され、1,266件の面談が行われました。各信金の職員も面談に同席し、終始和やかな雰囲気です。「新しい出会い探し」をすることができました。

▶シグマバンクグループとは……業務提携を行っている足立成和・亀有・小松川・東栄の4信用金庫の愛称です。

出展企業ブースでの面談の様子▶



▶参加企業同士の面談の様子

事業支援 e-Tax申告データ受付サービス(Zaimon)の取扱い開始

お客さまがe-Taxにて電子申告された決算書・確定申告書等を、電子データのまま足立成和信用金庫へ送信できる「e-Tax申告データ受付サービス (Zaimon)」の取扱いを、2025年2月3日より開始いたしました。

これにより、お客さまが直接店頭窓口に行くことなく、また、紙に印刷することなくインターネット上で決算書等のやりとりができるようになりました。

サービスのご利用には所定のお手続きが必要となりますので、まずはお取引店舗の店頭窓口または営業・融資担当者へお問い合わせください。

今後ともお客さまの利便性向上に努めてまいります。

※e-Taxとは、自宅やオフィス等からインターネットを利用して、各種税金の申告などができる国税庁の「国税電子申告・納税システム」です。

本サービスについて詳しくはこちらをご覧ください。



事業支援 三者連携の支援により事業承継が成立しました

当金庫は、2023年2月24日に足立区・日本政策金融公庫 千住支店と「事業承継支援に関する覚書」を三者で締結しております。

当該覚書に基づき、三者連携によるマッチングやコーディネート支援により、足立区梅田の1979年から45年続く老舗洋食レストラン「レストラン 花の木」が2024年11月29日に第三者への事業承継契約を締結し、2025年1月中旬より事業承継後新体制での営業が開始され、盛況です。

今後も、足立区・日本政策金融公庫 千住支店と連携を深め、事業承継に関する課題解決に向け、取組みを強化してまいります。

【主な支援の内容】

足立区	足立区全戸配布のタブロイド紙にて買主募集
日本政策金融公庫 千住支店	日本政策金融公庫のホームページで買主募集
足立成和信用金庫	買主・売主の面談等をコーディネート



▲契約締結日に「レストラン 花の木」の前で
右：事業承継前の経営者 田上夫妻
左：後継者 清水夫妻

地域経済活性化

都立 舎人公園「千本桜まつり2025」の開催

2025年3月29日・30日、都立 舎人公園で開催された「千本桜まつり」（主催：足立区観光交流協会）に、地元事業者や連携信用金庫の取引先を含め過去最大の80事業者が大集結しました。当金庫職員と出店事業者がタッグを組み、地元の名産品などの販売を通じて大いにPRいたしました。

また、2001年(平成13年)より包括連携を結んでいる東京未来大学との新規連携事業として、地元飲食店と学生で新商品を開発する「M_rise Kitchen car（ミライズキッチンカー）」による出店もなされ、串団子のようにペーグルを串に刺した商品や色鮮やかなソーダジュースなど新商品のお披露目および販売が行われました。

2日目は好天に恵まれ花見客で賑わい、両日合わせて約20万人の来場があり、各事業者の売上向上やPRに大きく貢献することができました。



地域経済活性化

「お菓子のまち あだち」応援活動

足立区は東京都菓子工業組合に所属する都内菓子製造業者が約3割も集積していることから、「お菓子のまち あだち」とされています。当金庫は、「お菓子のまち あだち」をもっと多くの方に知ってもらうため、足立区内の菓子製造業者や足立区内の諸団体と協力し、PR推進活動を行っております。

そのPR推進活動のひとつとして、2020年度より足立区在住の小学5・6年生を対象に、「足立区にこんなお菓子があったらいいな!」という“夢のお菓子”のアイデアを募集する「あだち 夢のお菓子コンテスト」を開催しております。

5回目の開催となる2024年度は、応募総数165作品の中から18作品が具現化され、10月19日(土)・20日(日)にアリオ西新井で開催された「あだち菓子博2024」にて展示されました。さらに、具現化作品の一部が実際に商品として限定販売され、全て完売いたしました。

大勢の方々のご来場およびご購入に感謝するとともにこれからも地域と連携し、「お菓子のまち あだち」のPRに尽力してまいります。



▲菓子事業者と応募者が具現化作品を手に持って記念撮影をしました。



入賞作品など、あだち夢のお菓子コンテストの詳細についてはこちらをご覧ください。



会員組織紹介

年金友の会ニコニコクラブ「第14回 ニコニコ寄席」開催

2025年2月13日、ギャラクシティ西新井文化ホールにて当金庫で年金をお受取りのお客さま向けのイベント「ニコニコ寄席」を約5年ぶりに開催いたしました。

落語家の蝶花楼桃花さんや三遊亭歌ん太さん、足立区在住の三増紋之助さんなどにご出演いただき、会場を笑いの渦に包み込んでくださりました。

なお、当金庫で年金をお受取りいただけますと、会員限定の金利優遇定期預金商品やイベント、誕生日プレゼント贈呈等々、さまざまな特典やサービスがございますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。年金専門の担当者が親身に対応させていただきます。

年金友の会「ニコニコクラブ」の特典内容についてはこちらをご覧ください。



当金庫における過去の地域貢献活動は、ディスクロージャー誌にて詳細に掲載しております。右記の二次元コードよりホームページにアクセスして、お気軽にご覧ください。



イベントのご案内 【「千住宿」開宿400年祭】



足立成和信用金庫発祥の地「千住」は、1625年（寛永2年）五街道の整備により、日光・奥州街道の初宿（第1番目の宿駅）に指定された“宿場町”で、2025年に開宿400年という大きな節目を迎えます。千住に本店を構える当金庫では、東京商工会議所 足立支部とともに地元企業や団体と協力し、年間を通じて開宿400年を盛り上げる“千住宿”開宿400年祭”を開催いたします。

千住“魅力”満喫スタンプラリー開催中！

“千住宿”開宿400年祭”のイベントの1つとして、4月より「千住」で“食べて”“買って”“巡って”楽しむデジタルスタンプラリーを開催中です！スタンプを集めた方には「千住」にちなんだ豪華賞品やオリジナルロゴのグッズGETのチャンスも！ぜひご参加ください！

詳しくは
こちらから



“おもい、わたる”ポスター制作・掲示中！

千住を含め足立区の方々にご協力をいただき、“千住宿”開宿400年祭”の機運向上を目的としたイメージポスター“おもい、わたる”を制作いたしました。

詳しくは右記二次元コードより当金庫ホームページをご覧ください▶▶▶



制作：写真柳下 書：なすご龍芳 協力：路地裏寺子屋roji-coya

当金庫ではこれまででも、“宿場町”という観光資源を活性化すべく「御宿場印プロジェクト」や「御宿場印マルシェ」などを行ってまいりましたが、“千住宿”開宿400年祭”を通じてさらに地元を盛り上げてまいります！地元の方は共に楽しんでいただき、それ以外の地域の方もぜひ北千住へ足をお運びください！

2024年度における「1年のあゆみ」は2025年7月末発行予定のディスコージャー誌に掲載予定です。ディスコージャー誌一覧はこちらから



地域応援相談プラザ含む店舗・ATMの営業時間等は
こちらから



LINE公式アカウントでは、当金庫に関するお知らせや、地域の情報等を配信中！友だち登録はこちらから

